

和光

発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700番地

国立療養所 奄美和光園

電話(0997)52-6311 FAX(0997)53-6230

令和7年9月1日
(2025)

第138号



■表紙	1	■消防訓練	12
■厚生労働省ハンセン病療養所対策室来園	2	■ふれあい和光農園開講式	13
■交流研修に参加して	2～3	■「令和7年度 奄美和光園親子療養所訪問」を終えて	14
■第31回奄美和光園夏祭り開催!	4～6	■加納名誉園長医療功労賞祝賀会について	15～16
■まーじんゆらおうでい会	7	■看護学校1年生の基礎看護実習を受け入れて	16
■初めての舟こぎ競争体験記!	8	■NST News Letter	17
■第62回奄美まつり花火大会を現地観覧	9	■診療統計	18
■第2回合同誕生会	10	■新人紹介	18
■令和7年度 第1回 バスレクリエーション	11	■人事異動・和光園日誌・編集後記	18

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



手広海岸（スキューバダイビングにて撮影）

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

厚生労働省ハンセン病療養所対策室来園

令和7年5月8日(木)、厚生労働省ハンセン病療養所対策室より北室長をはじめ4名の方が来園されました。全国に13園ある国立ハンセン病療養所の運営を管理監督する部署で、施設側からの予算要求をはじめとして、その他多岐にわたる要望の窓口として対応して頂いています。対策室の来園は年に1度の恒例行事であり、入所者自治会及び園より陳情を行っています。施設側にとっては直に園の現状を知って頂ける良い機会となります。

当日は到着後すぐに納骨堂にて献花を行い、自治会事務所へ移動して北室長より入所者の皆さんへメッセージ放送が行われました。その後、交流会館の見学や不自由者棟・病棟・治療棟の見学が行われ、対策室の職員と園幹部職員により意見交換を行い、2時間程度の駆け足での行程となりました。

こうして毎年恒例となっております対策室の来園で対策室のトップである北室長と直接話ができる機会を設けて頂けることが今後の園の運営にとってプラスになるものと確信しております。この度は、ご来園誠にありがとうございました。

事務長補佐 白倉 克彦



交流研修に参加して

令和7年5月22日、23日に奄美和光園にて職員交流研修に参加させていただきました。私は星塚敬愛園で言語聴覚士(リハビリ)として15年働いています。奄美和光園から、今後の星塚敬愛園での働き方について、参考にさせていただきたいと考え、研修に臨みました。実質1日という短い時間でしたが、奄美和光園の現況について詳しく学び、今後の働き方について示唆を得ることができました。奄美和光園では、よりきめ細かいケアや個別の事情に合わせたケアが実施されており、敬愛園でも

導入時期を検討し、積極的に取り入れていくべきであると考えました。

訪問中はリハビリスタッフをはじめ、多職種の職員の皆さん、入所者の皆さんに温かく迎えて頂き、誠にありがとうございました。おかげさまで穏やかな気持ちで、集中でき、実りある研修となりました。今後も交流研修の発展と継続を願っております。

星塚敬愛園 言語聴覚士 久保 賢太郎

令和7年5月22～23日の2日間、奄美和光園での交流研修にリハビリ部門から参加させて頂きました。私自身、ハンセン病療養所での勤務は星塚敬愛園のみであり、和光園の施設見学することで園の歴史や特徴などを学び、ハンセン病療養所についてまた深く知ることが出来ました。アニマルセラピーの見学では、参加者はもちろん職員も一緒に楽しんでいる姿をみて、身近な距離感や和やかな雰囲気づくりをされているのが印象に残りました。

また、園長含め多職種との意見交換の場を設けていただき、各園の特徴に沿ったケ

アの考え方や今まで知らなかった星塚敬愛園の良さにも気づくことが出来ました。一方で、共通している課題があることも共有でき、今後も交流研修に限らず情報交換していけたらと思います。

最後になりますが、今回の研修にあたり受け入れて下さった入所者のみなさま、準備を含めご協力頂いた職員の方々に感謝申し上げます。この度は、貴重な機会を頂きありがとうございました。

星塚敬愛園 作業療法士 永尾 結花



第31回 奄美和光園夏祭り 開催!

令和7年7月24日(木)、和光園講堂にて、第31回奄美和光園夏祭りが開催されました。

コロナウイルス感染対策による規模縮小から少しずつ元の夏祭りの内容に近づけるため、今年は昨年よりもさらに大勢の来賓の皆様をお招きしてにぎやかに開催することができました。

夏祭りは、園長の開会宣言ではじまり、来賓の皆様のご紹介を行ったあと、来賓を代表して奄美市長にお祝いのメッセージをいただきました。奄美市長の「今年も元気に、みなさんで楽しみましょう!」というメッセージに、入所者のみなさんも笑顔で応えられていました。

その後、夏祭りはメインの余興の部へ移ります。今年も入所者のみなさんの元気なカラオケに会場は大盛り上がりでした。そんな中、今年は職員だけではなく、外部から2つグループが参加してくれました。1つ目は、法務局と奄美人権擁護委員協議会のチームです。イメージキャラクターの人KEN まもる君、人KEN あゆみちゃんと一緒に歌とダンスを披露してくれました。後半は、隣の人とペアになって全員参加のお遊戯会でした。会場全体の団結力が高まったように思えました。2つ目のグループは、奄美祭りでも大人気のハブ隊です。会場内を所狭しと駆け回る大きなハブは大迫力でした。ステージ上で色んな技も披露していただき、会場からは歓声が上がりました。パフォーマンスの最後では、入所者のみなさんと園長を中心にハブが健勝祈願のとぐろを巻いてくれました。入所者のみなさんは間近に迫る大ハブにビックリしながらも、満面の笑みで巻かれていました。

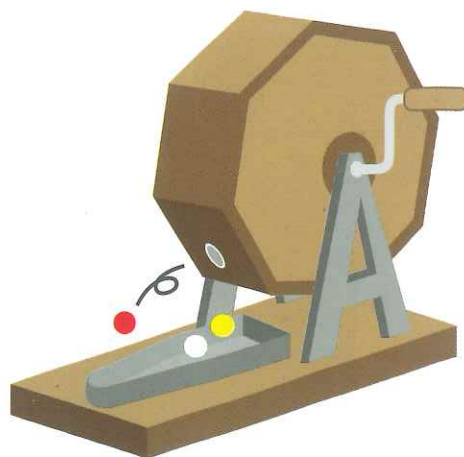
余興の合間には、露店でのお買物の時間が

設けられました。今年はお子さんも多く参加されており、入所者の方と一緒にガラガラで盛り上がったり、たくさん用意されたお菓子から一生懸命にお気に入りの1つを選んだりしていました。昨年から参加していただいている屋台も大人気で、露店コーナーは終始活気に溢れていました。

メインステージでは、調理スタッフによる素敵なダンスや園長の隠し芸であるピアノ演奏も披露され、会場はさらに大盛り上がりでした。そして、余興はクライマックスの総踊りへ。島のブルースと六調で盛り上がり最高潮となったところで、締めくくられました。

最後は、事務長による閉会の挨拶があり、参加者皆で記念撮影をしてから、夏祭りは盛会のうちにお開きとなりました。第31回となった奄美和光園夏祭りですが、今年も入所者の皆さんが喜ばれていたことが何よりも嬉しかったです。ご参加いただきました皆様、有難うございました。また来年も楽しい夏祭りを開催できることを願っています。

会計係長 河野 雅司





開会前の様子



園長による開会宣言



奄美市長の来賓祝辞



法務局と奄美人権擁護委員協議会のみなさんによるパフォーマンス



ハブ隊のパフォーマンス ハブに巻かれる入所者のみなさん



ハブに巻かれる園長



おかしとガラガラのコーナー



ガラガラを楽しむ入所者さん



小さな子もガラガラに挑戦



総踊り



六調



事務長による閉会のあいさつ



記念撮影



まーじんゆらおうでい会



令和7年6月12日、今年度、和光園に異動してきた方々の自己紹介を兼ねた「まーじんゆらおうでい会」が開催されました。異動者の方々が余興を披露し、入所者に楽しんで頂きながら、顔や名前を知って頂く機会として企画しました。入所者、職員総勢61名が参加し大いに盛り上がりしました。

異動者のカラオケが2曲披露された後に、「ワイド節」の踊りを披露。入所者も一緒にリズムをとりながら楽しみました。

最後に参加者全員で「六調」を踊り、笑顔に包まれながら会を終了することができました。

また、今回会に参加することができなかった入所者にも、異動者全員で訪問し改めて挨拶を行うことができました。

看護サービス委員

不自由者棟 看護師長 春田 絵里



予選敗退!? でも大満足!! 初めての舟こぎ競争体験記!



「絶対勝ちましょう!!」奄美和光園の舟こぎチームの円陣にかけ声が響きました。私たち和光園男子Aチームは、気合いとともに舟に乗り込み、櫂を振り上げ、いざスタートの合図を待ちます。「パンッ!」ピストル音で、5つの舟が一齐にスタートし勢いよく進んでいきます。我が和光園チームの出だしは、順調。折り返し地点までは、同順1位で通過します。難所のターンでは、ベテラン舵取りの巧みな技術で、綺麗に旋回。そして水しぶきと歓声に包まれながらラストスパート! 腕はパンパン、息はゼーゼーの中、ゴール目がけて必死に漕ぎ続けます。しかし、力及ばず。結果は惜しくも2位でした。予選を上げるには

1位通過が条件のため、ここで予選敗退となりました。和光園チームは、昨年と同様、男子女子ともに2チームずつの参加でしたが、結果は全チーム予選敗退に終わりました。

今回、私は初めて舟こぎ競争に参加しました。仲間と息を合わせて必死に漕いだ時間は、最高な夏の思い出となりました。そして、「来年こそは勝つ!」そうリベンジを心に誓った舟こぎ競争でした。

最後になりますが、舟こぎのご指導、練習と本番のドリンクやお弁当の差し入れ、熱い声援など多くの方々にご協力をいただきました。本当に有難うございました。舟こぎには舟の揺れと水しぶき、それから、夏の日差しを全身で感じながら、仲間とゴールを目指す日常では味わえない爽快感と達成感があります。みなさんも是非、来年の舟こぎ競争に参加されてはいかがでしょうか?

医事係長 福田 哲太



『安田市長も応援に来てくださいました!』

第62回 奄美まつり 花火大会を現地観覧してきました

今年も、奄美まつり花火大会を現地観覧してきました。今年は奄美市の市政20周年を記念する年でもあり、約2千発の花火が名瀬港の夜空に打ち上がりました。終盤の大尺玉もクラウドファンディングを活用して昨年よりサイズアップされていたそうで、迫力満点の大輪の花に、観客からは自然と感嘆の声と拍手が沸き起こっていました。

当園からは入所者1名と職員5名が現地観覧しました。昨年の経験があったため、場所の確保や事前の物品の準備はス

ムーズに行えましたが、当日は夜になっても思った以上に蒸し暑く、暑さ対策は今後の課題かと思われました。

今後も入所者の希望には可能な限り応えられるよう、職員一同で協力してライフサポートに取り組んでいきたいと思います。ご協力いただいた職員の皆様、ありがとうございました。

庶務係長 井上 進



第2回 合同誕生会

5月1日(木) あすなろホールにて、第2回合同誕生会が行われました。昨年10月の第1回では、6月生～11月生の方の誕生日会を開催し、今回は12月生～5月生の方を対象として行いました。

会場では、こいのぼりを持った少年の置物や飾りつけで出迎え、園長の挨拶後、職員全体での『HAPPY BIRTH DAY』の合唱から始まり、魚釣りゲームを行いました。絶妙な竿使いで上手に魚の口に餌(磁石)を合わせ、真剣なまなざしで取り組んでおられたのが印象的です。

プレゼント贈呈では園児が作ってくれたメダルを誕生日の方に、また参加者の皆さんに前総看護師長から大島紬を使った手作りの花のプレゼントがありました。思わぬ

方からのプレゼントに喜んでおられました。

最後は事務長から閉会の挨拶があり、写真撮影を行い終了しました。

誕生日会は30分程でしたが、多くの入所者、職員が参加することができ、とても短く感じるほど、楽しい時間になったと思います。

今後も誕生会を開催し、楽しく喜ばしい時間を作っていきたいと思います。

入所者の方のご参加、職員のご協力ありがとうございました。

作業療法士 二木 琢也



職員が作ってくれた人形



前総看護師長手作りのお花



令和7年度 第1回 バスレクリエーション くるぐるをぐるぐる

令和7年7月10日、令和7年度 第1回バスレクリエーションが実施されました。今回のバスレクは、今年大和村に開設された「アマミノクロウサギミュージアム くるぐる」さんです。

当日の午後1時、あいにくの雨模様だったのですが、マイクロバスとワゴン車の2台に分乗して、園を出発しました。

初めて訪れる施設なので、車内では、参加された入所者の皆さん5名、付添職員10名、全員で「どんな施設かねえ?」「楽しみねえ」「クロウサギが見れるっちよー」と会話が弾んでいました。

アマミノクロウサギミュージアム くるぐるに到着すると、全員で記念撮影を行った後、施設を見学しました。施設のスタッフの方が案内していただいたおかげで、生粋の島人である私も初めて知ることがあり、驚きました。

そして、島の野山を再現された展示室で

は、そのリアルさに感動し、クロウサギの屋内飼育場では、本物のアマミノクロウサギを見れて歓声があがっていました。

とても楽しい展示内容だったので、館内を何度もぐるぐる見て回る人が多数発生したことで、私は、勝手に、施設名は「くるぐる」であり「ぐるぐる」じゃや・・・という結論となりました。

バスレクリエーションという機会があったことで、アマミノクロウサギミュージアム くるぐるさんを訪れることができ、入所者の皆さんも大変喜ばれていました。くるぐるの皆さん、大変お世話になりました。ありがとうございました。

そして、次のバスレクも、皆さん、楽しみにしてくださいね。

福祉室

医療社会事業専門員 保 裕之



外来管理棟X線撮影室から訓練火災発生!!

令和7年7月31日13:30 外来管理棟X線撮影室から訓練火災が発生しました。火災発見、初期消火、園内放送、消防通報、護送2名の模擬入所者・独歩1名の模擬患者の避難誘導、重要物品搬出の訓練とし、本部・避難場所を外来外科診察室として実施しました。

いざ、訓練が始まると、消火隊のメンバーを中心に、テキパキと初期消火、失敗しても、すぐ切り替えて、屋内消火栓を準備し、皆で協力して模擬火災を鎮火させ、予定よりも早く本部へ報告まで完了できました。また、模擬入所者等の避難に関しても、細心の注意を払いつつ速やかに避難場所へ搬送できていました。

講評では、名瀬消防隊の方より「平日昼間想定ということで、多くの職員が参加さ

れ、完璧な訓練でした」と余りあるコメントを頂きました。また、園長からは「天候を考慮して、本部・避難場所が急に変更となったが、柔軟に対応できていた」と講評を頂きました。

消火避難訓練後も、消防隊の方に消火器の使用方法を教えて頂き、4月より異動で来た職員を中心に水消火器の使用訓練も実施しました。湿度が高い中、ご参加いただいた職員の皆さん、本当にお疲れ様でした。入所者さんの安全・安心な暮らしをお守りするため、今後とも、定期的な訓練や災害対策等を実施していきますので、ご協力をよろしくお願いします。

庶務班長 毛利 安則



農業体験で入所者との交流を深める ふれあい和光農園開講式

平成16年、当園の入所者自治会からの提案により「奄美和光園入所者と地域の親子が農作業を通じて交流し、ハンセン病に対する理解を深め、心豊かな子どもたちの育成」を目的として18年間続いた「ふれあい和光塾」については毎年度始めに開講式を行っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和4年度以降、中止となっております。

その間、入所者の高齢化により農作業をされる方が少なくなってきたことから、今後どのような形で継続していくか、奄美市教育委員会と協議を重ねた結果、令和7年度より「農業体験や交流を通して親子の絆やハンセン病についての正しい理解と認識を深める場」として「ふれあい和光農園」へ生まれ変わり、利用対象も小中高生とその保護者（親子）に加え奄美市に居住する18歳以上の方まで拡大することとなりました。

そのスタートとなる「ふれあい和光農園」の開講式が奄美市教育委員会主催にて5月24日（土）に当園講堂・農園で開催されました。ふれあい和光農園は旧「和光塾」より通算し本年度で19回目を迎え、本年度の参加者は、29家族89人です。

当日は梅雨入り直後でもあり、曇り空でしたが、幸い雨も降らず開催できました。

まず式の初めに主催者を代表し、奄美市教育委員会教育部長 當田様より「生涯学習の農業体験や交流を通して市民や家族との親睦を深めるとともに、入所者との交流を図りハンセン病の理解及び入所者の安らぎの場にする」との趣旨でご挨拶を頂きました。

次に園長より奄美市民の方々へ、亡くなられた自治会長の「ふれあい和光塾（農園）」への思いを伝え、「いつでも自由に園に来てください」との挨拶を行いました。

開講式後は、各自に割り当てられた農地の区画を耕し、以前より参加していたベテラン市民は、去年以上の収穫を目標に、また初めて参加する家族は農園で家族写真を取り今後の収穫を願いつつ作業を開始しました。

あらためて、ふれあい和光農園は、奄美市教育委員会の市民に対する生涯学習の一環ですが、この事業はハンセン病を通じて人権啓発のために今後とも継続していきたいと思っています。

最後に開講式を迎えるにあたり準備作業を進めていただいた奄美市教育委員会の関係各位に厚くお礼申し上げます。

事務長 上山 卓朗



「令和7年度 奄美和光園親子療養所訪問」を終えて

今年度の奄美和光園での親子療養所訪問を、園の入所者及び職員の皆様のご協力により、去る8月7日(木)に無事実施することができました。

親子療養所訪問は、鹿児島県が平成14年度から開催し、新型コロナウイルス感染症対策のため一時中止していました。昨年度から再開し、今年度は親子2組8名が参加しました。

当日の内容は、施設見学、入所者との交流会など、実り多いものでした。

●見学等

- ・施設見学…園職員による説明
- ・交流会館（歴史資料館）見学
- ・納骨堂での献花…各家族代表者2名

●交流会

- ・馬場園長あいさつ及び奄美和光園についての説明
- ・入所者との交流
- ・感想発表

交流会では、少人数で話をする事で、参加者の質問に一つ一つ丁寧に答えていた

できました。

参加者アンケートでは、「ハンセン病のことを今回より知ることができました。」「『友だちと仲良くね』との言葉で、仲間を大切にする事をどれだけ大切にしてきたかが伝わりました」などの感想がありました。入所者の方が実際にどのように思い、感じてこられたのかを知ることができた貴重な機会だったと思います。

交流してくださる入所者の皆さんには御負担をおかけしますが、参加者にとって、とても有意義な時間となりますので、今後も可能な範囲で御協力いただきますようお願いします。

馬場園長はじめ職員の皆様にも多大な御協力をいただき、本当にありがとうございました。

今後とも、本県のハンセン病対策について御指導及び御協力いただきますよう、重ねてお願いいたします。

鹿児島県保健福祉部健康増進課 岩元 千鶴



加納名誉園長医療功労賞祝賀会について

当園において平成23年4月から令和4年3月まで園長を、その後本年3月まで特命副園長を勤められた加納名誉園長が長年にわたり入所者の療養生活を支え続けてきた功績を認められ医療功労賞中央表彰を受賞されました。この賞は読売新聞社主催のもので中央表彰者は天皇陛下よりお祝いのお言葉を頂戴できる栄誉ある賞です。

本来、受賞した3月に行うべきものでしたが、人事異動時期でもあることを考慮し、去る5月20日(火)10時より当園講堂にて当園入所者をお招きして、18時30分より奄美市内のホテルにて当園と同じ鹿児島県内にあるハンセン病療養所、星塚敬愛園の園長と自治会長をお招きしたほか、奄美市役所、大島支庁、大島郡医師会、近隣医療機関の関係者及び当園元職員を招待しての祝賀会を開催しました。

当日は加納名誉園長ご夫妻がお越しになり、10時からの入所者との祝賀会においては表彰状とメダルをご披露され、入所者も実際に手に取ってご覧になり、先生と喜びを分かち合っておられました。会場の一角では不自由者棟介護員の皆さんが加納名

誉園長の思い出の写真とペーパークラフトやフェルトで作った花壇の飾り付けも行いました。なお、飾り付けは夕方からの祝賀会でも披露いたしました。

夕方からの祝賀会は、馬場園長及び加納名誉園長から会場の皆さんにお礼の挨拶があった後、田中総看護師長の発声で乾杯、久しぶりに再会する方々もおり昔話に花が咲く中、大島郡医師会長稲先生、星塚敬愛園長山元先生、入所者自治会長山口様から丁寧なご祝辞をいただきました。会の終盤で当園朝野介護員によるサプライズの演芸「ワイド節」があり、元職員は急遽、踊りへの強制参加?を命じられ大いに盛り上がりました。

祝賀会の締めは総踊り「島のブルース」「六調」が行われた後、佐々木薬剤科長の一本メにて盛会のうちに終わりました。ご祝辞をいただきましたお三方、ご出席いただきました皆さん本当にありがとうございました。

事務長 上山 卓朗

【講堂にて入所者との祝賀会】



【ホテルにて祝賀会】



大島郡医師会長 稲先生より お祝辞



職員お手製の飾りつけ



皆様ご出席ありがとうございました

看護学校1年生の基礎看護実習を受け入れて

令和7年7月8日・9日の2日間、奄美看護福祉専門学校看護学科1年生2名の看護実習が当園で実施されました。

実習の目的は、「看護が行われている場を知り、看護師の役割と看護の実際を理解する」です。1日目は不自由者棟にて、園長回診を見学し多職種との連携や看護師の役割について学びました。1人の入所者にさまざまな職種が関わり、チーム全体で入所者を支えていることを理解してもらうことができました。また、入所者のニーズやADLや年齢・生活背景に合わせた環境づくりについて、工夫をしている事にも気づくことができました。2日目の病棟実

習では、一般舎やリハビリの見学等行いました。学生からはコミュニケーションの難しさも感じたが、ユマニチュードを活用した関りが大切だと理解できたという反応がありました。実習担当者として、1年生は初めての实習のため、緊張がほぐれるように笑顔で対応し、一つひとつ理解ができたか声かけを行いました。

今後、この経験を活かし患者様に寄り添い看護ケアが実践できる看護師になって欲しいと思います。

実習指導者

不自由者棟 看護師 政木 美香

NST News Letter

No.34

「入れ歯で健康維持！」

皆さんは毎日の食事の中で硬いものが噛めない、入れ歯がゆるい、入れ歯が合わなくて痛みがある、味がうすく感じるなどといった困りごとはないでしょうか。

硬いものが噛めなくなる理由としては、全て天然の歯である方の噛む力を100%とすると、部分入れ歯では30～40%、総入れ歯では10～20%まで噛む力が低下する事が一つの原因だと言われています。口腔機能が低下し食べ物を十分に噛めなくなることで、消化不良や栄養摂取が不十分になります。また、食べ物をうまく噛み砕けないことにより喉に詰まらせたり、うまく飲み込めず気管に落ちてしまい肺炎を引き起こす可能性もあります。入れ歯は咀嚼機能の維持、発音の改善、口腔内環境の維持、転倒予防の役割があり、歯を失った方には無くてはならない存在です。

転倒との関係性

天然歯が19本以下である方は20本以上の方と比較すると2.5倍の転倒リスクがあり、転倒した方の約6%が骨折すると言われています。歯が19本以下でも入れ歯を使用する事で転倒リスクが約半分以下に抑えられる可能性もあると示されています。

身体のバランスを安定させるためにも入れ歯を使用することが望ましいです。

食事との関係性

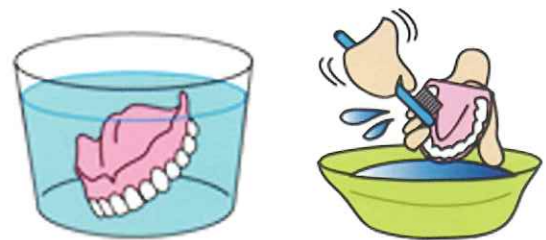
入れ歯を使用することで歯の代わりとして咀嚼をサポートするだけでなく、唾液腺が刺激され、薄味でも素材本来の味を楽しめるようになると言われています。入れ歯に慣れるまでには時間がかかりますが、状況に応じた食材の切り方や調理法を工夫す

る事でより食事を楽しむことが期待できます。

軟らかい食事でも入れ歯をはめて噛むことを意識し、認知症の予防や全身状態の維持につなげていただきたいと思います。

入れ歯の管理について

1. 破損、紛失、乾燥を防ぐために、入れ歯を外した時は水を入れた容器で保管しましょう。
2. 入れ歯を洗う際は落下させた際の破損防止として、水を張った容器の上で洗うようにしましょう。
3. 入れ歯を装着する際は、噛んで押し込むように入ると変形や破損の原因となります。装着する際はしっかりはめ込んだことを確認してからか噛むようにしましょう。
4. 加齢や体重の減少に伴い口の中は常に変化し続けています。1年に1回は入れ歯の定期健診を受けましょう。



私たち職員は入所者の皆さんがいつまでもお口から食事が食べられるよう支援いたしますので、口に関する悩み事などがありましたらお気軽にご相談いただければと思います。今回の入れ歯についてのお話が皆さんの健康的な生活を送る一助となれば幸いです。

歯科衛生士 松原 ゆかり

令和7年度 診療統計

	外来診療					再掲			入院診療	分子標的薬	
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均 (人)	診療実日 数(日)	紫外線療 法(件)	手術/生検 (件)	フットケア (件)	延患者数 (人)	導入	維持療法 (累計)
4月	42	214	256	23.3	11	40	3	15			3
5月	50	204	254	25.4	10	34	1	4		4	1
6月	33	159	192	27.4	7	34	1	7		1	4
7月	55	198	253	21.1	12	45	7	3	8	1	5
8月	56	204	260	21.7	12	48	3	9			4
合計	236	979	1215	23.4	52	201	15	38	8	6	17

新人紹介

保育士 安田 さとみ (やすだ さとみ)

4月15日から保育園に勤務しております安田さとみと申します。子供たちと毎日、元気に過ごし、一緒に成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



事務助手 前崎 智美 (まえさき ともみ)

8月より福祉室に入りました前崎智美と申します。海やカフェ巡りが大好きで休みの日には、よくウロウロしています。一日でも早く業務を覚えられるよう努めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

人事異動

(令和7年5月1日～令和7年8月31日)

R 7. 7. 31	中野 竜也	調理師	退職 (期間業務職員)
8. 12	前崎 智美	事務助手	採用 (非常勤職員)
8. 31	中地 美智子	調理助手	退職 (期間業務職員)

和光園日誌

(令和7年5月1日～令和7年8月31日)

R 7. 5. 1	第2回合同誕生会	R 7. 7. 10	バスレク(くるぐる)
5. 8	施設単独陳情	7. 17	園外ショッピング
5. 12～14	共済監査	7. 24	夏祭り
5. 15	園外ショッピング	7. 30	県立大島病院との診療に関する協議会
5. 20	加納名誉園長医療功労賞中央表彰祝賀会		第35回アニマルセラピー
5. 22	第33回アニマルセラピー	7. 31	NHO九州グループ総括長来園
5. 22～23	和光園敬愛園職員交流研修		消防訓練
5. 24	ふれあい和光農園開講	8. 2	舟こぎ競争 名瀬港佐大熊地区
6. 12	まーじんゆらおうでい会	8. 4	夏季全国医学生離島実習
6. 19	「らい予防法による被害者の名誉回復及び追悼の日」式典(厚生労働省)	8. 7	親子療養所訪問
	園外ショッピング	8. 21	園外ショッピング
6. 25～26	一般健康診断	8. 23	八月踊り(有屋町内会)
6. 26	第34回アニマルセラピー	8. 28	第36回アニマルセラピー
7. 3	笹川財団来園		

編

集

後

記

暑い日が続いていますが、皆さんお変わりなくお過ごしでしょうか。和光園では、今年もホウオウボクが綺麗に花を咲かせてくれました。自然とはあまり縁のない生活をしていた私も、様々な植物や生物に触れてすっかり奄美の魅力に取りつかれてしまいました。

先日、初めてのスキューバダイビングに挑戦してみました。奄美の海を全身で感じる事ができました。こうして自然からもらったエネルギーを【和光】や業務を通して、入所者さんの元気につなげていければと思います。

編集委員 河野 雅司